

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2014年2月号 盛岡&宮古 スキーキャンプ特集



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「YMCAでの思い出」

近藤 海平 (盛岡YMCAベスト・キッズOB)

僕は、近所で週一回やっていたサッカー教室に参加したことで初めてYMCAに関わりました。教室では、面白い内容の練習やゲームをしていたので、初心者だった自分でも基礎からゆっくりと無理のないペースですることができ、とても楽しく体を動かしながら技術を習得していくことが出来ました。また、指導して下さるリーダーの人達がとても印象に残っていて、どのリーダーも面白い人ばかりで一緒にサッカーをすることが楽しかったのを覚えています。

行事ではサッカーキャンプに参加したことを覚えています。サッカーでは試合のチームがランダムであったため、いつも一緒にサッカーをする人とは違ったメンバーという新鮮で楽しい経験をする事が出来ました。サッカー以外にも、海で遊んだり肝試しをしたりなどたくさんのイベントがあり、そのイベントの中で初めて会った人と交流する機会も多々あったため、それらを通して新しい友達や今までの友達との仲を深めていくことができ、良

い経験になりました。

小学校高学年あたりからもっとサッカーが上手になりたいと思うようになり、ベストキッズに参加しました。ベストキッズでは自分の技術をさらに磨くため、いつものサッカー教室よりレベルが高い練習を行っていたため、練習についていくために一生懸命やっていました。特に、冬の練習が辛く、大変だったのを覚えています。しかし、走る要素が多い練習は体力をつけるためにも役立ちました。また、ベストキッズに参加したことで、他のチームと試合をすることが多くなり、より一層頑張っていました。試合で負けたときは、悔しくてとにかく勝ちたいと思っていた自分でしたが、ベストキッズでは相手が誰であれ自分達のサッカーをすることを目指して、その考えのおかげで勝ち負けだけにこだわらず自分達がやりたいサッカーをすることの楽しさを学ぶことが出来ました。このことを学ぶことが出来たからこそ、今でも自分が楽しくサッカーが出来ているのだと思います。

『エンジョイ・ジュニアスキーキャンプ』

昨年12月26日(木)～29日(日)は2013年を締めくくるエンジョイ・ジュニアスキーキャンプが行われました。場所は八幡平リゾートスキー場。子ども43人、リーダー10人、総勢53人でワクワク・ドキドキの4日間でした。今年のスキーキャンプのテーマは『絶対もっとスキになる。』私たちは、3日間、4日間にわたり、た〜くさんのことを好きになってきましたよ(〇〇)!!そんなキャンプの様子は下の写真をご覧ください!

1日目。エンジョイスキーキャンプの子どもたちが一足早く八幡平リゾートホテルへ。向かう途中では、たまごとにわたりやロックマイソウルを歌いました。そして今回のテーマソング…『絶対もっとスキになる。』という歌をみんなで覚えましたよ〜♪スキー場では体操のお兄さんと体操をしているグループや、さっそく雪遊びを始めるグループなどスキーをする前からウキウキ☆初日のスキーを皆笑顔で過ごしていました。ナイトプログラムではグループ対抗で動物レースや〇×クイズなどをし、初日の夜も満喫しました。

2日目。朝の集いでは、『絶対もっとスキになる。』の歌に振り付けをつけて、歌いました♪朝ごはんを食べ、いざスキーレッスンへ!スキーを滑る前から〜っても賑やかでたくさん滑るぞ〜!!とワクワクした様子が伝わってきました。初めてのスキーの子どもたちも、2日目にしてリフトへ挑戦!!高い斜面に負けずに滑ってきました♪午後は、ジュニアスキーキャンプの子どもたちと合流。合流式では、大人数が『絶対もっとスキになる。』を歌いました。そして、新しい仲間とともに再びスキーレッスンへ!人数が増えてさらに愉快♪ナイトプログラムでは生活グループごとに数々のミッションに挑戦!!数字の問題や人間知恵の輪…マシュマロを10個口に入れるのは大変でした。(笑)その後はそれぞれの部屋に戻り思い思いの夜を過ごしました。

3日目。この日(12月28日)はお誕生日の子が2人いました♪朝の集いでは、この2人のお誕生日を歌ってお祝いしました!!照れながらもこれからのことを語ってくれましたよ(〇〇)!!この日のスキーレッスンは、頂上へ行くグループなど、様々なコースを滑っているグループがたくさん!中でも、新雪のグレンデがとてモコモコしていて、大人気でした♪この日は最後の夜…。スタンプ大会!これまでに生活グループで一生懸命考

え、練習してきた出し物を発表してもらいました。前座では「もしかしてだけど」という題で、おいなりリーダーとゴリナリーダーが歌ネタを披露。どこかで聞いたことがあるような…?次は子どもたちの発表。トップバッターはわらびリーダーのグループ。桃太郎の劇を個性豊かなナレーターや登場人物で皆を笑わせていました♪その後も笑いが尽きることなく、酔っぱらいの劇や、クイズ、ガム太郎のお話などなど…グループごとに個性のある発表を披露してくれました。最後は丸くなって『絶対もっとスキになる。』を皆で元気よく歌いました♪もちろん踊りつき♪お部屋では遊び疲れたのかすぐに就寝してしまう子が多く、また楽しい夜を日記で振り返っていました。

最終日。この日は待ちに待ったワッペンテストの日。…といっても、体操から大きな声で元気よく行っていたり、雪合戦が始まったりと変わらず楽しみました。ワッペンテストでは、これまで練習してきたことをしっかりと意識しながらも楽しく滑りました。その後は、自由にグループごとのスキー。モサモサコースを滑るグループや、雪遊びをするグループ。一足先にホテルに戻り遊んでいたりとさまざま。最後まで賑やかに過ごしました。午後はフリータイム。日記を書き、歌を歌う子どもたちや、お絵かき、トランプなど。仲間たちとの時間を笑顔ですごしました☆お部屋で惜しみながらもホテルを出発。バスでもとても賑やかで最後の最後まで笑顔ですごしました。

この4日間、また3日間、私たちは出会い、新しい仲間と本当に楽しいキャンプを作ることができました。今回のテーマソング…『絶対もっとスキになる。』のように、今回のキャンプで新しい友達、仲間、嫌いな食べ物、歌、スキー…子どもたちもリーダーもたくさんのことを好きになって帰ってきたと思います。それはもちろん、キャンプが終わっても、普段から『スキ』になることを増やしていってほしいとも思っています。このキャンプで出会えた仲間と最高の思い出を作れたことは一生の思い出です。また、キャンプに行きたい。みんなに会いたい。と思わずにはいられないキャンプでした。次はどんな子どもたちとキャンプに行けるのか…?ドキドキ・ワクワクの私。ゴリナからの報告でした☆

岩手大学教育学部2年 武田 悠 (ゴリナリーダー)



← ↑
みんな、スキーが大スキー!(笑)



↑ 1日目ナイトプログラムでのエンジョイ組の女の子たち。



↑ バスの中でも大騒ぎ。いい笑顔だね◎



↑ 夕食はバイキング♪
つつい食べ過ぎちゃうな。



↑ 救助隊出動!
雪にハマった少年を救い出せ!



← これからナイトプログラム♪
気合い十分。



← ゴリナリーダーとおいなりリーダーの替え歌にみんなも夢中。「もしかしてだけど♪」

「田沢湖ウィンタースキーキャンプ」に行ってきました！

初めてスキーをするいわゆる「初心者」のお友だちが半数を超えるという、ドキドキワクワクキャンプでした。また2012年度からのスキーキャンプ経験者も参加してくれ、思いっきり滑ることができました。リーダーはいつものアドベンチャークラブ（毎月の盛岡野外活動）で来てくれる顔なじみの盛岡YMCAリーダーや、横浜や大阪YMCAのOGリーダーが集まり、久しぶりに再会する笑顔も見られました。

1月11日から13日までの期間中、曇天のおかげで雪が解けず、アイスバーンになることもなく、練習には最高の雪質で行えました。初心者チームは日を追うごとに上達していき、重いスキー板に悪戦苦闘していましたが、最後には「もっと上からすべー！」と元気でリーダーのほうが負けそう(!?)になるほどでした。緩斜面の上から「〇〇リーダー！行くよー！」と大きな掛け声をかけ、リーダーが手を大きく上げ「OK！いいよー！」と下で受け止めてくれます。止まるとリーダーの前でピタッとブレーキ！ 最終日には天候やいろいろな条件で残念ながらリフトには乗れませんが、遠くまで歩いて登り、自分でスピードコントロールをしながら長い距離を滑る楽しさを感じました。経験者チームはリフトに乗り、それぞれの習熟度ごとに楽しんで練習していました。中でも初心者の前を「がんばれよー！」と誇らしげに滑り去るときはカッコよかったです。リフトの上から声をかけてくれたり、初心者チームにとって羨望的で、「次は僕たちも！」と初心者チームの励みにもなりました。

夜のお楽しみ、ゲーム大会や毎年恒例の江戸時代から続く長さ5mの大きな「紙風船」（平賀源内考案）です。風船に絵を描いたり人型を写したり、大きく自由な絵を満喫していました。お願い事も印象的でした。そして雪降る夜空に遥かなたまで飛んで行きました。一番の思い出は部屋の中ではないでしょうか。グループの仲間ではしゃいだり、リーダーと遊んだり…。それぞれの部屋に入るとどの部屋からもにぎやかに盛り上がっていました。スキーやゲーム大会も楽しいのですが、子どもたちの自分たちの「時間」や「空間」がキャンプにとってとても大切で、仲間とのぶつかりあいや笑いから社会性やいたわりが育まれると思います。きっと各部屋でグループリーダーや友だちとの「ひみつのドラマ」がたくさんあったことと思います。キャンプにお送りいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

宮古ボランティアセンター長 木田 泰之



初めてのスキーにドキドキ！がんばれー！



2日目のナイトプログラム。みんなの絵や思いが描かれた巨大紙風船が空に飛んでいきました。↓



↑
→
部屋でも大暴れ。それぞれの生活班で新しい友だちもできて、楽しい3日間を過ごしていました。



こぼれ種33

『苦難から喜びへー盛岡YMCA30周年を迎えて』

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事) 中原 真澄



2014年を迎え、この冬も例年どおりの寒さが続きます。これまでのところ雪が少なく、車の移動が楽なのに「これで済むかなあ〜？」と心配するのは、4回目の盛岡の冬に慣れたからでしょうか。そんな中、1月最後の土曜のいつになく暖かな午後、私が牧師を務める内丸教会に市内の諸キリスト教会がつどう集会がありました。カトリックもプロテスタントも正教会も一堂に会して礼拝を守った後、YMCAのアピール時間もあり、楽しい交わりの時でした。

YMCAは、19世紀のロンドンで別々のキリスト教会に属する若者が、厳しい工場労働に疲れた仲間たちの心と体を癒せる場をつくろうと祈りあうことで始まりました。「超教派」というキリスト教用語があり、幾つにも分裂したキリスト教(派)の違いを超える・・・という意味ですが、YMCAは世界最初の「超教派」運動だったのです。この幅広い姿勢ゆえ、YMCAは生まれてすぐに国境を超え、世界に広がっていきました。そし

て現在のYMCAは、キリスト教の枠も超えた「超教派」運動として、仏教、イスラム教、ヒンズー教、そして無宗教の人とも、地域に奉仕する思いさえ共有するならば、共に腕を組み、働いています。ももとの「超教派」の意味を超えた活動をYMCAは生みだしてきたのです。日本のYMCAも、そうした世界的な動きの先駆けの1つだったと言えるでしょう。

盛岡YMCAも30年前の誕生以来、さまざまな方から力をいただけてきました。これからも、盛岡や宮古、そして岩手に住む人々の求めに応えるべく、更に多くの方々と手を取り合っていくことを願っています。

兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲違いせず、心をついにし思いをついにし、固く結び合いなさい。・・・キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。(コリントの信徒への手紙一 1章10~13節)

～表紙の写真よ！～



エンジョイスキーキャンプ1日目のスキーレッスン写真。これからみんなでワクワクするような楽しい4日間を過ごすのです！ (12月26日)

1月アドベンチャー 日帰りスキー「ぼくもわたしもスキーヤー」

1月アドベンチャーは日帰りスキーが2週連続で行われます。向う場所はお馴染みの八幡平リゾートスキー場です。

1回目の1月19日(日)は21名の子どもたちが参加。その中には人生初スキーの子もいましたが、リーダーと1対1の特訓で最後にはリフトに乗って降りてこられるまでに！自分の成長を感じ、夢中になって滑っていました。他の子どもたちも、リフトの上で歌ったり、グループ内でニックネームを決めて呼び合ったり、スキーだけにとらわれない楽しい時間を過ごしました。朝は緊張でガチガチだった子も午前中のレッスンを終えてくれば、別人のように笑顔があふれていました。昼食はホテル特製カレライス☆しっかり充電し、午後元気がぐれんで飛び出していく子どもたち。もうヘトヘトかと思いきや、帰りのバスでさえ「ほほえむソング」という覚えてたの歌を大熱唱していました。



2回目は1月26日(日)。子どもたちは21名集まりました。前週に引き続き参加してくれた子の中には、前回出来なかったことを目標に掲げて頑張る子もいました。この日はあいにくの天気で吹雪いていることの方が多い1日でしたが、そんなことも気にならないほど楽しんで滑っていたようでした。昼食はもちろん特製カレライスで、休憩も兼ねておやつタイムもありました。いろんな子とおやつを交換したり、おすそわけしたりしていました。どのグループも気合いを入れて午後のレッスンへ出発！時間いっぱいまで滑ってもまだ滑り足りないという子がたくさんいました。あり余る元気は帰りのバスの中で爆発！！最後の最後まで全力の子どもたちでした。

盛岡YMCA 家村



↑ スキー満喫中♪



↑ レッスンが終わってヘロヘロ～

2月・3月予定

- ★2月2日(日)13:00~16:00
サンデースクール
「バレンタインクッキング」
(於：おでって5F生活アトリエ)
- ★2月22日(土)～23日(日)
2月アドベンチャー
「雪まつり&スキーキャンプ」
(於：秋田県田沢湖スキー場)
- ☆2月16日(日)
本町サッカー補講(2月15日休講分)
- ☆2月18日(火)
火曜水泳場所変更(ふれあいランド)
-
- ★3月9日(日)13:00~16:00
サンデースクール
「火も包丁も使わない料理」
(於：おでって5F生活アトリエ)
- ★3月16日(日)
フットサル大会
(於：盛岡大学)
- ★3月29日(土)～31日(月)
3月アドベンチャー
「2泊3日思い出の潟分校キャンプ」
(於：秋田県仙北市思い出の潟分校)
- ☆3月18日(火)
火曜水泳場所変更(ふれあいランド)

感謝

2013年年度 順不同・敬称略

●東日本大震災被災地支援

募金・献品

南原良哉、林間つきみ野教会、味岡葉子、飯靖子、日本アーティストユニオン、茨城YMCA、宮古市魚菜市場青年部、菊池崇江、林間つきみ野教会、大阪YMCA松尾台幼稚園、木下恵合子、六甲学院、伊藤眞一郎、ワイズメンズクラブ東日本区北東部、ワイズメンズクラブ西日本区、横浜YMCA東とつか保育園

●維持会費

花田瞳、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田二朗、佐藤翔、高瀬裕彦、杉田弘美、長岡正彦、名古屋恒彦、熊谷力實、大関靖二、熊谷太、古和田周吾、及川茂夫、及川恵、一戸貞文、早坂春希、伊藤克見、鬼柳忠彦、濱塚れい子、清水弘一、谷藤敏多、吉崎陽、重石桂司、川守田浩、工藤直子、田村治之、北田アユ子、熊谷一郎、岩崎スエ、今松桂子、斎藤優太、桑原良幸、増田隆、藤澤史、佐々木多恵、守下昌輝、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野聖子、菊池哉翔、清水治彦、濱塚有史、濱塚真美、濱塚恵太、花松行雄、長谷川精一、井上修三、井上優子、井上浩太郎、島岡孝匡、伊藤眞一郎、小山憲彦、小畑孝子、菊池弘生、光永尚生、池上正、ロン・クローラン、グレイス・レディ、千葉洋子、深澤秀男、深澤多紀、馬場一郎、山口貴伸、中原真澄

●寄付金

花田瞳、佐藤翔、高瀬裕彦、杉田弘美、古和田周吾、及川茂夫、及川恵、一戸貞文、早坂春希、伊藤克見、清水弘一、吉崎陽、川守田浩、中屋重正、今松桂子、増田隆、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野聖子、濱塚有史、濱塚真美、重石桂司、井上修三、伊藤眞一郎、小山憲彦、菊池弘生、光永尚生、池上正、魚住英昭、学校法人カナン学園、原寛、越前谷洋子、深澤秀男、中島敬泰、中原真澄

●国際協力募金

(ワイリピン)台風30号被災地復興支援募金

佐藤淳史、遠藤昌樹、熊谷圭祐、大関靖二、杉田弘美、高橋晴紀、菊池亨恵、鎌田章太郎、布川里樹、布川英里香、布川英樹、斎藤優太、小塚健介、香園ニッタン株式会社、松岡英樹、石桂司、和田海璃、和田慈子、和田博泰、工藤泰、鬼柳忠彦、熊谷太、守下昌輝、濱塚秋二、濱塚れい子、菅恵、嶋田谷三千代、中村駿介、熊谷奈友多、角掛達、遠藤成樹、岩井和己、佐々木翔一朗、佐々木朗人、東野暖希、菊池崇江、港凱理、田鎖大翔、齋藤夏夏、遠藤功盛、杉村英久、工藤直子、木下恵合子、水野暢夫、早坂朗、菊池弘生、増田隆、伊藤克見、小畑孝子、名古屋恒彦、千葉代子、赤坂卓哉、佐々木幸彦、村松滉哉、盛岡YMCAリーダー会